

日時：令和4年3月30日（水）10：00～11：30

場所：市役所 第1委員会室/A203・A204会議室

出席者：下平会長、畠中委員、岩戸委員、樋口委員、宮澤委員、柴田委員、菅沼委員、中山委員、森下委員、稲垣委員、篠田委員、高田副市長（行財政改革推進本部長）、櫻井総務部長、佐々木財政課長、岡本人事課長、林企画課長、鎌倉庁内デジタル化推進担当専門幹

欠席者：勅使河原委員、西塚委員

1 開会

2 あいさつ

（下平会長）

今年度、第3回目の行財政改革推進委員会となる。本日は、行財政改革大綱によるこれまでの取組結果と来年度の計画について、内容の説明を受ける。行財政改革大綱に基づく実行計画は、実行計画目標を保留としたまま、令和3年度の取組がスタートした。この実行計画については、飯田市として、新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえ、長期財政見通しの検討と合わせ、目標を設定することとなっていたもの。飯田市から説明を受けるが、改めて実行計画の目標を確認し、令和3年度の取組の内容と、令和4年度の計画について確認いただく。また、行政事務のデジタル化の取組、令和4年度の当初予算の内容についても、説明が予定されているのでよろしく願いたい。

今もなお、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響によって、あらゆる面で市民の生活が翻弄されている。また、ロシアのウクライナ侵攻による影響も、国民生活において不安の影を落としている。自然災害にあっても、3月16日の東北地方の地震は、甚大な被害をもたらしている。国内外における新型コロナウイルス感染者、戦争被害者、震災被害者それぞれ被害を受けた方々、そのご遺族にお見舞い申し上げます。

このように不安が多い中、先週末には数えて7年に一度の飯田お練り祭りが開催された。勇気を持って開催され、その後の新型コロナウイルス感染症の状況は予測の範囲内だと思っている。

本日は、当委員会の開催にあたり、年度末の多忙の中、多くの委員に出席いただいたことに感謝申し上げます。しっかりと協議いただき価値ある委員会となることを願います。

（高田副市長）

本年度第3回目の行財政改革推進委員会を開催したところ、年度末のお忙しい時期にもかかわらず、多くの委員に出席していただき感謝申し上げます。本日の会議は、行革の実行計画目標を策定したので、それについて改めて説明し、確認していただく。それに基づき、令和4年度の行革をどう取り組むかについても確認いただきたい。DX推進方針について、これから地方を挙げてDXを推進するということが、飯田市としてどういう方向でどう取り組んでいくのか説明させていただく。去る3月22日に飯田市議会第1回定例会が閉会したが、その中で予算案の審議をしていただいた。コロナ禍にあっても、お練り祭りを含め、できるだけ市民生活や経済活動を回復させていくことに留意した予算としたので、後ほど概要について説明させていただく。

ウクライナ情勢について、心配される状況にある。議会でも「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」が行われた。飯田市では職員の提案として、飯田国際交流推進協会の協力で募金を呼びかけ、飯田水引組合の協力により製作した、ウクライナの国旗をイメージしたリボンを身に着ける運動を行っている。私たちにできることは僅かではあるが、なんとか収まっていくような取組ができればと思う。

本日の会議は、コロナ対策ということで2会場に分かれての開催となっている。不自由をおかけする
がご協力をお願いしたい。

お練り祭りでは、久しぶりに市民の笑顔が戻り、お練り祭りをやって良かったと感じた。こうしたこ
とが少しずつ地域で盛り上がり、市民の元気が戻る事が大事であり、経済の回復にもしっかり取り
組んでいくのでよろしくをお願いしたい。

3 協議事項

(1) これまでの行財政改革の取組と今後の計画について 【佐々木財政課長説明】

- ・飯田市行財政改革大綱（2021年度～2024年度）に基づく実行計画 資料1
- ・令和3年度第2回飯田市行財政改革推進委員会（書面開催）において集約した意見等

当日配布資料1

(宮沢委員)

ふるさと納税について、以前は「人形劇のまちいいだ」とかあったが、現在飯田市は、どういうキ
ャッチフレーズで全国に発信しているのか。

(林企画課長)

ふるさと納税のキャッチフレーズについて、現在ふるさと納税のサイトは、飯田市のお礼品を見て
選択していただけるよう商品の特徴を前面に打ち出すことで、PRをしている。その中に飯田市のペ
ージがあり、自然豊かな飯田市で、りんご並木とか人形劇のまち、グリーンツーリズムなど本物体験
ができるまちなど、そういったことがイメージできる写真と併せて文書で掲載している。

(宮沢委員)

飯田市は、人形劇のまちとか一本桜とかがあるが、飯田のブランドとしては淋しい。キャッチフレ
ーズとして、例えば千葉県流山市では、「母になるなら、流山市」として盛んに流山市を宣伝し、千葉
県のベッドタウンとしてPRをしているが、飯田市はいつのまにか「環境文化都市」に戻り、そうい
うことが気になっている。

(林企画課長)

ふるさと納税のサイトの中で、飯田市の紹介ということでは、一本桜も紹介しているし、市田柿も
ある。動画で天竜峡舟下りやりりんご並木や体験教育旅行の様子、遠山郷の美しい映像等、幅広くP
Rしている。ネットということで、幅広い魅力を発信して、その中で興味や関心があるようなところ
から、飯田市へ寄付していただけるようにサイトを作っている。

また、ふるさと納税は、寄付をきっかけに飯田市を知っていただいて、飯田市との関係を少しずつ
持っていただき、交流人口等に繋げていきたいという意図もある。今までは企画課で取り組んでいた
が、令和4年度からは新しく広報やブランドを推進していく課ができるので、ふるさと納税の所管を
移して、寄付をきっかけに市のプロモーションができるように、連携して進めていく。現在、IIDAブ
ランド推進課で取り組んでいる「焼肉のまち」とか、様々な魅力を発信しているが、そういったもの
とふるさと納税を結び付けながら、PRしていきたいと考えている。

(宮沢委員)

10ページの広告収入について、令和2年度の広報いいだの広告収入は1,335,000円で、令和3年度
は582,000円と減っている。令和2年度から、広報いいだに飯田観光ガイドの会のガイド募集の広告
を載せてもらえず、広報いいだの広告をカットされた。広告が減っているし、飯田のために頑張っ
ている飯田観光ガイドの会の広告なので、載せてくれてもいいのでは。

(佐々木財政課長)

詳細については観光課でないとわかりかねるが、広告収入の減少については、新型コロナウイルス
感染症の影響と考えられる。観光ガイドの会の広告掲載については、改めて確認する。

(下平会長)

この件について、委員会として内容を確認した。

(2) 行政事務のデジタル化について【鎌倉市内デジタル化推進担当専門幹説明】

- ・飯田市行政事務DX推進方針の策定について 資料2-1
- ・飯田市行政事務DX推進方針 資料2-2

(樋口委員)

この会議には、飯田市民生児童委員協議会を代表して出席している。各地区の会長会が開催され、そこで出た要望でもあるのでお願いしたい。

飯田市の福祉関係データについて、市に住民基本台帳のデータがあると思うが、民生委員は紙データを管理している。基本的には住民基本台帳のデータが全部入っているが、長寿支援課で管理している高齢者台帳データは紙のデータで、毎年1回民生委員に紙のデータが渡され、それを現実に照らし、修正・変更して、その紙のデータをまた、長寿支援課へ提出している。行革の取組として、是非デジタルデータとして管理してほしい。住民基本台帳データに含まれるデータなので、そこから抜き出して、長寿支援課で必要となる高齢者台帳を作成して、毎年の更新にあたっては、デジタル化して修正し、紙ではなくデジタルデータとして管理することを強く要望したい。県内の別の市では、市で持っている高齢者のデータを民生委員に渡し、それを修正して市へ返すと、市でデジタル化するというをやっているところもある。

支え合いマップについても、一部データ化している地区もあるが、使い方についてまちづくり委員会とも協議して、デジタル化してほしい。

災害時の要援護者リストについては、担当している地区では、民生委員が紙のデータを使用しているが、市内においては、まちづくり委員会で作成した災害時の要援護者リストのデータを持っている地区もある。それらのデータもデジタル化したうえで、民生委員、まちづくり委員会、地域住民がどう利用できるかということを考え一元化してほしい。

使い方やデータの権限などあると思うし、まちづくり委員会や自治会長が持っていて、最終的には民生委員が把握することで本当の災害時には利用できるが、平常時はどうするかということもある。当人が災害時に声をかけてほしいかどうか、データをもらっていいかどうか、データを出せないという意向の人は無理だが、個別に対応しながら緊急時連絡先など知り得る状況にあるものをデータ化してほしい。市ではデータを持っていて、まちづくり委員会としては、本人の希望で知り得ていないということもあるので、まちづくり委員会で持つデータとして災害時に対応するため、基本的にはデジタルデータ化をお願いしたい。

(鎌倉市内デジタル化推進担当専門幹)

福祉データとして取り扱う情報はセンシティブなものがあり、飯田市からは民生委員さんに、福祉台帳という形で紙のデータで渡している。飯田市ではフェードアウトして作ったデータがあるが、そのデータの形でお渡しするのは難しい。個人情報はどう取り扱うかという中で、サイバー攻撃のこともあり、一か所でデータが漏れたら市の信頼はなくなる。紙のデータの取扱いも同じだが、扱い方をどうするか、効率よく管理するにはどうするか等、福祉の現場と検討していく必要がある。

災害時のデータの取扱いも同じで、災害時に被災者の支援をすることについては、危機管理の部署で準備しているが、災害時と平時の取扱いや、要援護者をきちんと把握しておく仕組みについても、データを管理している担当部署と検討する。

(樋口委員)

長寿支援課で扱っているデータは紙だけしかなくて、デジタルデータがないのでそこをなんとか対応してほしい。

(鎌倉市内デジタル化推進担当専門幹)

長寿支援課に伝え、対応を検討する。

(菅沼委員)

テレワークの推進について、「試行的運用を実施し、テレワークの効果と課題を検証しながら環境を整備する。」とあるが、試行的運用から課題を抽出したうえで、どの段階でいつから本格運用にするのか、或いは運用しないのかの判断をどうするのか。新型コロナウイルス感染症対策の分散勤務と

あるが、3年くらい前から働き方改革ということも言われており、取組内容にも書いてあるが、働き方改革という観点からもテレワークの推進をお願いしたい。そうした判断をする時期をお聞かせ願いたい。

(岡本人事課長)

分散勤務で、試行的にテレワークを実施しており、実績も出てきている。運用上どうなのかということも検証していく必要がある。テレワークとして、持ち帰る機材やセキュリティ的な課題もある。働き方改革の視点もあるので、セキュリティ面や機材のことも含め総合的に判断していきたい。

(菅沼委員)

セキュリティについては、飯田市だけの問題ではなく、全国の市町村としての課題でもあると思うので、連携して判断していただきたい。

(下平会長)

個人情報の取扱いは難しい。アナログ的な支援もしていただきたい。地域を預かる者からすると、両面を検討してほしい。

(樋口委員)

方針3の、AI・RPAの利用促進について、「RPAによる定型的なコンピュータ操作の自動化について研究を進める。」とあるが、RPAとは具体的にどういうことか。

(鎌倉庁内デジタル化推進担当専門幹)

RPAというのは、例えば、人間がパソコンの操作を行うというのがあって、エクセルのデータを他のエクセルデータにコピーするとか、エクセルのデータを他のシステムに登録するとか、人間が行う操作をロボットのやるというツールにプログラムさせて、人間がやらなくてもその作業を自動的に行うということ。単純な作業でも、人間がやるよりロボットがやる方が24時間対応できるし効率的。今まで人間がやっていたことが自動的にできる。

(下平会長)

この件について、委員会として内容を確認した。

(3) 令和4年度当初予算について 【佐々木財政課長説明】

- ・令和4（2022）年度飯田市当初予算（案）の概要 資料3
- ・令和4年度の主な取り組みと予算（広報いいた4月号掲載） 当日配布資料2

(宮沢委員)

25ページの主な内容の市営駐車場の運営管理について、駐車場料金の試行で駐車場料金が2時間まで無料というのが「令和4年3月23日から令和4年9月30日までの予定」とあるが、2時間無料というのは画期的なので、期間を検討してほしい。

(佐々木財政課長)

お練り祭りのタイミングに合わせて、中心市街地の賑わいを取り戻そうということもあり、試行ということで設定した。9月30日までの予定となっているが、その間で検証し、その後どうするかを決める。

(下平会長)

市議会の予算審議での主な意見はどうだったか。

(佐々木財政課長)

議会からは、民間の営業を圧迫するのではという意見があったが、民間事業者ともしっかり話しをして、検討し、その後どうするかを決める。

(下平会長)

5月から飯田市公民館が移転するが、駐車場の確保は十分できているか。

(佐々木財政課長)

駐車場対策として、これまでの高羽町テニスコートを再生して活用する。

(下平会長)

この件について、委員会として内容を確認した。

4 その他【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

(1) 新年度の行財政改革推進委員会の開催予定について

・第1回（令和4年7月下旬頃を予定）

令和4年度に指定管理協定期間が終了する施設の実績評価に対する意見聴取について

(2) 委員報酬及び旅費について

5 飯田市行財政改革推進委員の任期満了にあたって

あいさつ

(高田副市長)

委員の皆さんには、任期3年間ということで、令和元年度から本日まで3年間お勤めいただいたことに御礼申し上げます。この間、令和2年度には行財政改革大綱の策定ということで、協議をしていただき答申をいただいて策定ができた。また、指定管理者制度の実績評価など、熱心に議論いただいたことに併せて感謝申し上げます。行財政改革は不断の努力が必要であるので、委員が代わられても、これからも引き続きご意見をいただきたい。

本日の会議について、お忙しい時期にお集まりいただき感謝する。また、コロナ禍で、変則的な会議となりご不便をおかけした。本日お答えできなかったことについては、改めて回答し、ご意見をいただいたことはこれからもしっかりと受け止めて今後に生かしていく。年度の切り替えであり、任期満了で交代される委員もいらっしゃると思うが、それぞれの分野の代表としてご意見をいただき感謝する。これからも引き続き行財政改革推進委員会へ助言をいただきたい。改めて委員各位に感謝を申し上げ、御礼の挨拶とする。

6 閉会